NTT

Netcommunity SYSTEM

BX

取扱説明書

ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイ対応

カールコードレス電話機

このたびは、ネットコミュニティシステム BX カールコードレス電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品
BX-CCLTEL-〈1〉

1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 より便利に使う
4 ご参考に

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 主装置や電話機を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- この取扱説明書とともに、必ず接続している主装置の取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

⚠危険

●電池パックの充電は、本商品のベースセットの充電用電極を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電池パックは、プラス（赤）・マイナス(黒)の向きが決められています。本商品のハンドセットに接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。間違った接続をすると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電池パックは、本商品のハンドセット専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- 火の中に投入したり、加熱しない。
- 直接はんだ付けしない。
- プラス(赤)・マイナス（黒）を針金などの金属類で接触しない。
- 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない。
- 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷つけない。
- 水や海水に付けたり、ぬらさない。

●電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

●電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

設置について

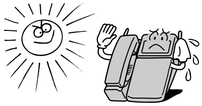
⚠警告

●本商品のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

●本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水·油·薬品などのかかるおそれがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

●次のような場所で設置・使用しないでください。
- 医療電気機器に近い場所
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器に近い場所
- 心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以内の位置

お取り扱いについて

⚠警告

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜き、電源アダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本商品を落としたり、破損した場合は、すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜き、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜き、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●本商品に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源アダプタの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

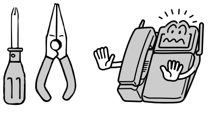
●電源アダプタは、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●差込口が2個以上ある壁のコンセントに他の電気製品の電源アダプタ等を差し込む場合は、合計の電源値がコンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

- 電源アダプタは、必ず専用のものを使用し、それ以外のものは絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜き、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ベースセットとハンドセットの充電用電極部分に触れないでください。感電や充電不良の原因となることがあります。
- ベースセットの充電用電極の上に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。

- 万一、本商品の内部に水などの液体が入った場合、すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜き、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

●本商品の電話機コードおよび電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電話機コードおよび電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電話機コードおよび電源アダプタコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●本商品の電話機コードおよび電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜き、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

●本商品をねじったり、重いものをのせたり、強く押し付けたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

●本商品や電話機コード、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の電源アダプタには延長コードを使わないでください。火災の原因となることがあります。

●本商品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

●近くに雷が発生したときは、本商品の電話機コードを電話機コード差込口から抜き、電源アダプタをコンセントから抜いて、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品で指定されていない電池パックは使用しないでください。指定以外の電池パックを使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

設置について

⚠注意

●本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。

お取り扱いについて

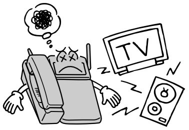
⚠注意

- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品をお手入れするときは、安全のため必ず電話機コードを電話機コード差込口から抜き、電源アダプタをコンセントから抜いて、行ってください。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、壊したりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 本商品のアンテナにご注意ください。誤ってアンテナが目に当たって、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは2年程度で交換してください。長期間電池パックを装着したままでご使用になると、液もれによるトラブルが発生する場合があります。

設置について

STOP お願い

- 本商品を電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。



  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。電波が強すぎるときは、本商品が使用できないことがあります。
- トラックや自動車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

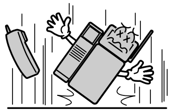
- ●金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。
- ●周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。
  - 本商品のハンドセットからの通話圏外警報音とディスプレイのアンテナマークで電波の強さを確認し、通話できる範囲を確かめてください。
- ●本商品を複数台設置するときは、それぞれのベースセットを1 m以上離してお使いください。
- ●本商品を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。
- ●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- ●アンテナの近くに他の機器の電源アダプタ充電器および電源コード等を近づけると、音声が途切れたり聞きとりにくくなる場合がありますので離してください。
- ●補聴器をお使いの場合、補聴器の種類によってはハンドセットでお話し中に雑音が入ることがあります。
- ●本商品は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

- ●本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

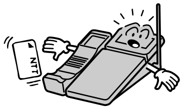
- ●ベースセットとハンドセットの充電用電極は、月に1回程度乾いた布でふいてください。充電用電極が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。
- ●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



STOP お願い

●本商品の電話機コードおよび電源アダプタコードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●ベースセットの充電用電極にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。



●本商品のアンテナを伸ばしたり縮めたりすることはできません。アンテナを無理に引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品のハンドセットをベースセットから外しておくときは、外線ランプ、内線ランプが消えていることを確認してください。ランプがついていると、電話がかかってきても受けられません。

●本商品と他の内線電話機が近いと雑音が入ることがあります。他の内線電話機から離してお使いください。

●本商品のハンドセットは充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実にベースセットに置き、ベースセットの充電ランプの点灯を確認してください。

●本商品を長期間ご使用にならない場合は、ハンドセットの電池パックを外して保管してください。また、電話機コードを電話機コード差込口から抜き、電源アダプタをコンセントから抜いてください。

●ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

●ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。

●本商品は、ディジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。

●本商品のプラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製造過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してご使用ください。

●本商品をご使用中、本商品や電源アダプタを触ると温かく感じることがありますが、故障ではありませんので、安心してご使用ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

電波干渉について

本商品の無線方式には、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用する、Bluetooth® を用いています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LANなど）が使用していますので、電波の干渉により、ハンドセットでお話し中に音声が途切れたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本商品は電波干渉の影響を受けにくい方式としていますが、下記の内容に注意してください。

- 電子レンジなどを使用中に、近くでハンドセットを使用すると、音声が途切れたり、使えなくなることがあります。
  ベースセットは電子レンジなどから離して設置し、（目安：約3 m以上）ハンドセットも電子レンジなどの近くで使わないでください。
- ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3 m 以上離してください。雑音や映像の乱れの原因になります。
- 無線LAN機器（ルータ、AV機器、防犯機器など）を使用している環境で本商品を使用すると、音声が途切れたり、無線LAN機器の動作に影響を与えることがあります。
  本商品を、無線LAN機器からなるべく離してご使用ください。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作にも影響を与えることがあります。できるだけ、設置場所や使用場所を離してください。
  ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  ・工場や倉庫などの物流管理システム
  ・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
  ・鉄道車両や緊急車両の識別システム
  ・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
  ・火災報知器
  ・マイクロ波治療器
  ・自動ドア、自動制御機器
  ・アマチュア無線局
  ・その他、Bluetooth® 対応機器やVICS（道路交通網システム）など
- 本商品は、2.400～2.4835 GHzの帯域を使用する無線設備を内蔵しています。
  移動体識別の帯域が回避可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80 mです。
  本商品には、それを示す右のマークが貼り付けられています。

2.4FH8

※ Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、使用許諾契約の下で弊社にライセンスされています。

※ Qualified Design ID：B010261

電波に関するご注意

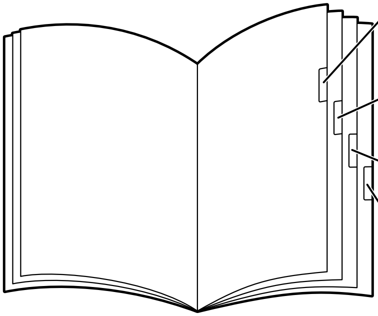
本商品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、当社のサービス取扱所にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
- その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書では、カールコードレス電話機でご利用になれる基本的な機能について説明しています。その他の機能や登録・設定については、ご使用になっている主装置の取扱説明書をご覧ください。

この取扱説明書の構成



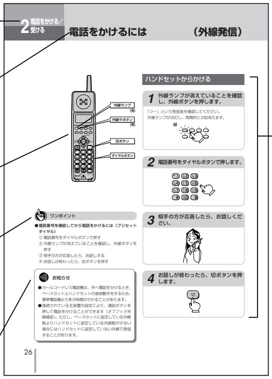
1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 電話をかける／受ける
電話をかけたり、受けたりする基本機能について説明しています。

3 より便利に使う
1～2章までの内容のほかに、利用できる便利な機能について説明しています。

4 ご参考に
付属品や添付品の説明、故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明ページの構成



章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

電話機イラスト
操作で使うボタンなどの位置を示しています。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。
次の2種類のマークで項目を区別しています。

- ●：お買い求めいただいてすぐにご利用いただける機能の補足説明
- ○：その他の補足説明

操作説明
順番に操作を説明しています。
見出しの枠を次のように区別しています。

- ■（黒枠）：お買い求めいただいてすぐにご利用になれる機能
- □（白枠）：「システム設定」によりご利用になれる機能

お願いまたはお知らせ

〈お願い〉
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

〈お知らせ〉
この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください ････2
この取扱説明書の見かた ････････････････････････11

1 お使いになる前に

特長 ･･13
セットを確認してください ･････････････････････14
各部の名前（ベースセット）････････････････････15
各部の名前（ハンドセット）････････････････････19
カールコードレス電話機の準備をします ･････････22

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信）･･････････････････24
　ベースセットからかける ･･････････････････････24
　ハンドセットからかける ･･････････････････････26
電話がかかってきたときは（外線着信）･･････････27
　ベースセットで受ける ････････････････････････27
　ハンドセットで受ける ････････････････････････28
相手の方に待っていただくには（保留）･･････････29
　保留にする（共通保留）･･･････････････････････29
電話を取りつぐには（保留転送）････････････････30
　電話を取りつぐ（保留転送）･･･････････････････30
内線でお話しするには（内線通話）･･････････････32
　内線でお話しする（内線通話）･････････････････32

3 より便利に使う

ドアホンとお話しするには ･････････････････････34
　ドアホンからの呼び出しに応答する ････････････34
　ドアホンの周囲の音を聞く ････････････････････35
ハンドセットの機能を設定するには ･････････････36
　ハンドセットの機能を設定する ････････････････37
ベースセットを確認するには ･･･････････････････38
　ベースセットを確認する ･･････････････････････38

4 ご参考に

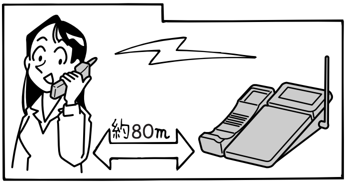
電池交換のしかた／
　電池の残量がなくなったときは ････････････････39
充電用電極のお手入れ ･･････････････････････････41
通話できる範囲から外れたときは（圏外）････････42
付属品／添付品をご利用になるには ･･････････････43
故障かな？と思ったら ･･････････････････････････44
こんな音がしたら ･･････････････････････････････46
索引 ･･47
仕様 ･･49
保守サービスのご案内 ･･････････････････････････50

特　長

半径約80 mの範囲で持ち運びが自由

ベースセットから半径約80 mの範囲（見通し距離）※で、お話ししながら移動できます。

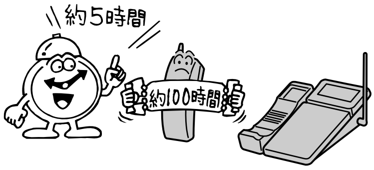
※コンクリート壁などで区切られている場合など、お使いになる周囲の環境条件によっては、通話にノイズが入ったり、通話できる範囲が狭くなることがあります。



約5時間の連続通話が可能

約5時間※続けてお話しできます。また、待ち受け時間も圏内時約100時間※と長いので、頻繁に充電しなくてすみます。

※時間はフル充電した場合の目安です。充電状態、気温などの使用環境、利用場所の電波状態によって短くなります。



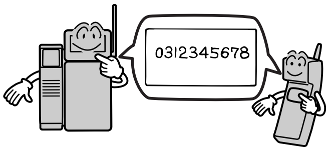
盗聴されにくい簡易秘話機能

通話中の電話の盗聴を防止するための簡易秘話機能※がありますので、第三者による盗聴の心配が少なくなります。

※第三者が特殊手段を講じた場合は盗聴されることもあります。

わかりやすい液晶ディスプレイ表示

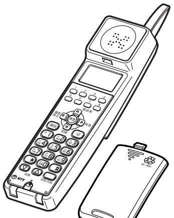
現在の時刻や、通話時間などを液晶ディスプレイにわかりやすく表示します。



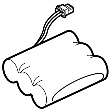
セットを確認してください

■本体

ベースセット（1台）

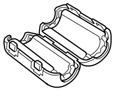


ハンドセット（1個）
電池カバー（1個）

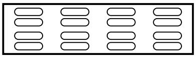


電池パック（1個）

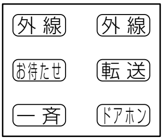
■付属品／添付品



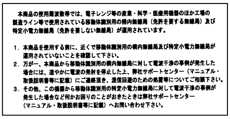
フェライトコア
（1個）



カラーシール
（1組…8色各2枚）



電話機用シール
（1枚）



本商品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1．本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2．万が一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サポートセンター（マニュアル・取扱説明書等に記載）にご連絡頂き、混信回避のための処置等についてご相談下さい。
3．その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは弊社サポートセンター（マニュアル・取扱説明書等に記載）へお問い合わせ下さい。

電波使用注意書きステッカー
（1枚）

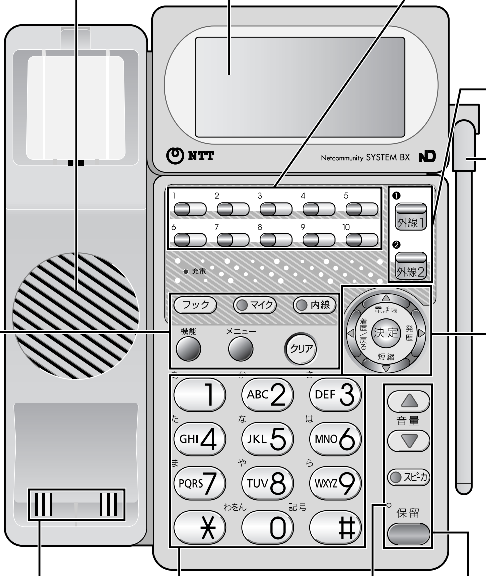
取扱説明書（1部）

NTT通信機器
お取扱相談センタシール（1枚）

●電池パックおよび電池カバーは、設置時に当社の工事担当者が取り付けますのでご自分では行わないでください。
●付属品／添付品に足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

各部の名前　（ベースセット）

【前面】



フレキシブルキー
ワンタッチダイヤルで電話をかけるときや登録するときに使います。※1、※2
また、内線番号やいろいろな機能を登録しておき、ワンタッチで操作するときに使います。

外線ボタン
電話をかけるときなどに使います。

アンテナ

上下左右ボタン
カーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。
- 上ボタン、電話帳ボタン
  カーソルを上に移動するときや、電話帳メニューを表示させるときなどに使います。
- 下ボタン、短縮ボタン
  カーソルを下に移動するときや、電話帳メモリ番号検索で電話をかけるときなどに使います。
- 左ボタン、着歴／戻るボタン
  カーソルを左に移動するときや、1つ前の画面に戻るとき、着信履歴を表示させるときなどに使います。
- 右ボタン、発歴ボタン
  カーソルを右に移動するときや、発信履歴を表示させるときなどに使います。

決定ボタン
選択した項目や入力した内容などを確定するときに使います。

音量調節ボタン
着信音量やスピーカ受話音量を調節するときに使います。
スピーカボタン
相手の方の声をスピーカで聞くときや、ハンドセットを置いたまま電話をかけるときなどに使います。
保留ボタン
相手の方とのお話しを保留するときに使います。

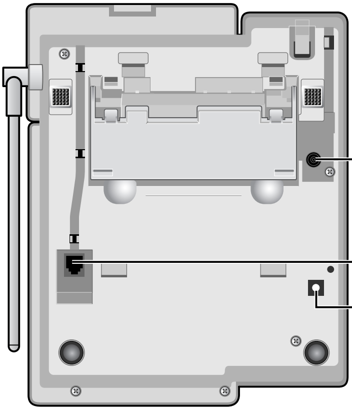
充電用電極　**ダイヤルボタン※3**　**マイク**

フックボタン
キャッチホンなどで使います。
マイクボタン
マイクのオン、オフを切り替えるときや、ハンドセットを置いたままで内線の呼び出しに応答するときに使います。
内線ボタン
内線でお話しするときや、いろいろな登録操作をするときに使います。
機能ボタン
他のボタンと組み合わせて、いろいろな機能を登録するときに使います。
メニューボタン
メニュー設定を行うときや、文字の入力モードを切り替えるときに使います。
クリアボタン
文字を消去するときや、メニュー設定を中止するときに使います。

※1 詳しくは、お使いのネットコミュニティシステムBX 主装置内蔵電話機／BX 主装置タイプの取扱説明書を参照してください。
※2 ネットコミュニティシステム BX 主装置タイプに接続している場合は、フレキシブルキー（10個）が外線ボタンに設定可能です。
※3 ダイヤルボタン JKL5 に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

各部の名前　（ベースセット）

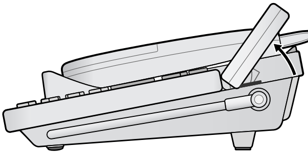
【底面】



お願い

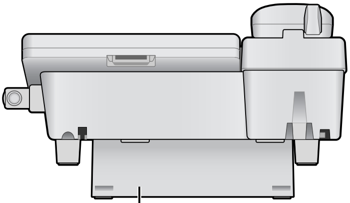
●工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなります。

【右側面】



約45°まで、ディスプレイ部分を起こすことができます。

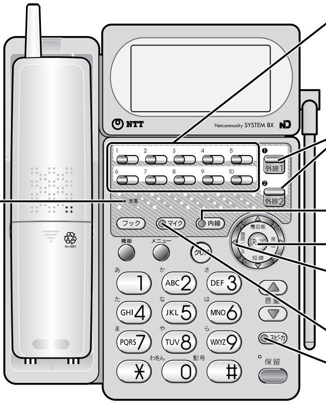
【背面】



お願い

●充電用電極（金属の部分）には、ぬれた手（特に汗のついた手）で触れないようにしてください。また、充電用電極がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取ってください。
●充電用電極が汚れたときは、綿棒や布などでからぶきするか、アルコールを含ませた布でふき取ってください（ベンジン、シンナーなどをお使いになると変質することがありますので、これらは絶対に使わないでください）。
●充電用電極が汚れていたり、充電用電極に異物がついていると、ハンドセットをベースセットに置いてもベースセットの充電ランプが点灯しないことがあります。いつもきれいにしておいてください。
●ディスプレイを無理に起こしたり、動かしたりしないでください。

【ランプ表示】



■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

点灯

速い点滅

遅い点滅

ランプの種類	ランプのつきかた（色）		電話機の状態
外線ランプ	2回消える	（緑）	自分の電話機で外の相手の方とお話し中のとき
	2回点灯	（緑）	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
	点灯	（赤）	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき／ナンバー・ディスプレイご利用時に相手の方の電話番号情報を受信しているとき（アナログ回線使用時）
	速い点滅	（赤）※1	外から電話がかかってきたとき
	速い点滅	（緑）	外の相手の方との保留が長いとき（保留警報中）
	遅い点滅	（赤）	他の内線電話機が外の相手の方とのお話しを保留中のとき
内線ランプ	2回消える	（緑）	内線でお話し中のとき／ドアホンとお話し中のとき
	速い点滅	（赤）	内線で呼び出されているとき／ドアホンから呼び出されているとき
	2回点灯	（緑）	自分の電話機で内線通話を保留中のとき（ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプに接続している場合）
マイクランプ	点灯	（赤）	マイクがオンになっているとき
スピーカランプ	点灯	（赤）	スピーカを使用しているとき
決定ランプ	点灯	（赤）	通話を保留中で、転送できないとき（ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプに接続している場合）
着歴ランプ	点灯	（赤）	ディスプレイに着信履歴を表示しているとき（ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプに接続している場合）
	2回点灯	（赤）※2	不在着信があったとき 他の内線電話機で応答したため、未確認の着信履歴があるとき（ネットコミュニティシステムBX 主装置内蔵電話機に接続している場合）
充電ランプ	点灯	（緑）	ハンドセットをベースセットに置いて、充電しているとき

※1 ネットコミュニティシステム BX主装置タイプに接続している場合、保留警報時やダイヤルイン着信などの際に、緑色になります。

※2 メニュー設定によって点灯させることができます。

各部の名前 （ベースセット）

【ディスプレイの見かた】

①外線通話
1-02-10
②ISDN PB

①12月19日(火) 午後 3:05
③着信音 <<<

名称入力
▮
④[かな]

■こんなときに表示されます

①文字や数字		カレンダ・時計表示、ダイヤルしている電話番号、かけてきた相手の方の電話番号など（ナンバー・ディスプレイご利用時）、登録または設定の内容など
②	ISDN	ISDN回線を利用しているとき
	PB	プッシュ（PB）回線を使用しているとき／ダイヤル（DP）回線を使用している場合にPB信号を送ることができるとき（DP→PB切替）／ISDN回線、VoIP回線を使用している場合にPB信号を送ることができるとき
	VoIP	VoIP回線を使用しているとき
③	着信音	着信音量を調節しているとき
	受話音	ハンドセットを取りあげて、受話音量を調整しているとき
	スピーカ音	スピーカ音量を調整しているとき
	<<<<<<<<	着信音量、受話音量、スピーカ音量の大きさ
④ [かな] [カナ] [ABC] [123]		ワンタッチダイヤル、電話帳などの名前を登録するときの文字の種類

ワンポイント

●**ディスプレイの表示をクリアするには（表示クリア）**
クリアボタンを押すと、表示内容をクリア（前の状態の表示に戻る）することができます。ただし、カレンダ・時計表示はクリアされません。

お知らせ

●表示内容は、接続されている主装置の「システム設定」によって異なることがあります。
●保留や転送を行うと、通話時間はいったんクリアされ、次のように表示されます。
〈ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプに接続している場合〉
応答した内線電話機に保留した時間も含めて、継続して表示されます。
〈ネットコミュニティシステムBX 主装置内蔵電話機に接続している場合〉
保留または転送後に0 - 00から開始します。
●通話時間は、国際電話のとき、専用線をお使いのときにも表示されます。
●時間の表示は、ベースセットとハンドセットで約1秒程度のズレを生じることがあります。
●電話機コードが電話機コード差込口から外れた場合は、電源アダプタ（オプション）を使用しているときでも、表示が消えて使用できなくなります。

各部の名前　（ハンドセット）

【前面】

アンテナ

受話口

ディスプレイ

外線ボタン
外線ボタンを設定することができます。

フレキシブルキー
ワンタッチダイヤルで電話をかけるときや登録するときに使います。

通話ボタン
外の相手の方とお話しするときや、内線でお話しするときに使います。

音量調節ボタン
着信音量やハンドセットからの受話音量を調節するときに使います。

充電用電極

決定ボタン
選択した項目や入力した内容などを確定するときに使います。

上下左右ボタン
カーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。

- **上ボタン、電話帳ボタン**
  カーソルを上に移動するときや電話帳メニューを表示させるときなどに使います。
- **下ボタン、短縮ボタン**
  カーソルを下に移動するときや電話帳メモリ番号検索で電話をかけるときなどに使います。
- **左ボタン、着歴／戻るボタン**
  カーソルを左に移動するときや1つ前の画面に戻るとき、着信履歴を表示させるときなどに使います。
- **右ボタン、発歴ボタン**
  カーソルを右に移動するときや、発信履歴を表示させるときなどに使います。

切ボタン
通話を終わるときや機能を設定するときに使います。

ダイヤルボタン※

保留・内線ボタン
お話しを保留にするときや、内線でお話しするときに使います。

送話口

【背面】

電池カバー

【上面】

※ダイヤルボタン ⑤ と音量調節ボタンの大の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

各部の名前（ハンドセット）

【ランプ表示】

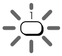
外線ランプ

保留・内線ランプ

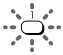
■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

点灯



点滅



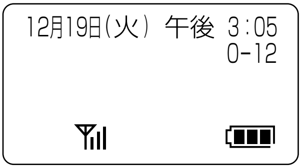
ランプの種類	ランプのつきかた（色）	電話機の状態
外線ランプ	2回消える　（緑）	自分の電話機で外の相手の方とお話し中のとき
	2回点灯　（緑）	自分の電話機で外の相手の方とのお話しを保留中のとき
	点灯　（赤）	他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のとき／ナンバー・ディスプレイご利用時に相手の方の電話番号情報を受信しているとき（アナログ回線使用時）
	速い点滅　（赤）※1	外から電話がかかってきたとき
	速い点滅　（緑）	外の相手の方との保留が長いとき（保留警報中）
	遅い点滅　（赤）	他の内線電話機が外の相手の方とのお話しを保留中のとき
保留・内線ランプ	2回消える　（緑）	内線でお話し中のとき／ドアホンとお話し中のとき
	速い点滅　（赤）	内線で呼び出されているとき／ドアホンから呼び出されているとき
	2回点灯　（緑）	自分の電話機で内線通話を保留中のとき（ネットコミュニティシステムBX 主装置タイプに接続している場合）

※1 ネットコミュニティシステム BX主装置タイプに接続している場合、保留警報時やダイヤルイン着信などの際に、緑色になります。

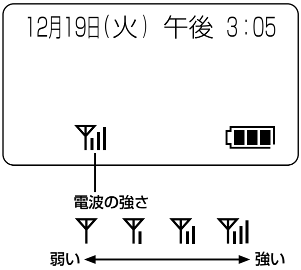
【ディスプレイの見かた】

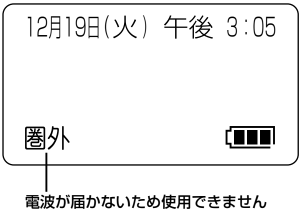
ディスプレイ表示は、ダイヤル回線をご利用の場合、プッシュ回線をご利用の場合、ISDN回線をご利用の場合で異なります。また、接続されている主装置によっても異なります。

■通話時間表示例（ダイヤル回線ご利用時）



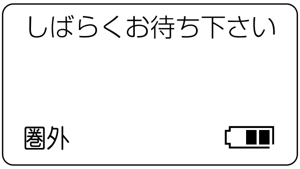
■電波の強さ



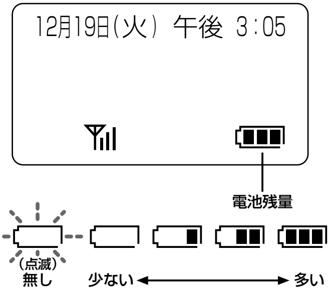


■ベースセットと無線接続準備中のとき

電池パックを接続した直後や無線が混雑しているとき、または長時間圏外の場合など（圏外の場合はそのままでは使用できませんので、ベースセットの近く（圏内）に移動してください。）



■電池残量



お知らせ

- ●表示内容は、接続されている主装置の「システム設定」によって異なることがあります。
- ●通話時間は、保留や転送を行うといったんクリアされ、応答した内線電話機に保留した時間も含めて、継続して表示されます。
- ●通話時間は、国際電話のとき、専用線をお使いのときにも表示されます。
- ●時間の表示は、ベースセットとハンドセットで約1秒程度のズレを生じることがあります。
- ●電話機コードが電話機コード差込口から外れた場合は、アンテナ表示が「圏外」と表示されます。

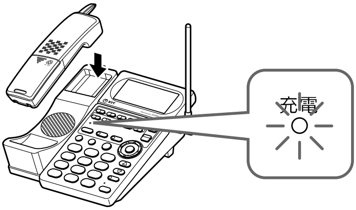
カールコードレス電話機の準備をします

■カールコードレス電話機を充電する

ハンドセットは充電が必要です。はじめてお使いになるとき、または長い間お使いにならなかったときは必ず約5時間以上充電してからお使いください（フル充電は約9時間です）。
また、ご使用にならないときは、ハンドセットをベースセットに戻しておいてください。

1 ハンドセットをベースセットに置き、充電します。

ベースセットの充電ランプが緑色に点灯します。



必ず充電ランプが点灯したことを確認してください。

お知らせ

- 充電が正しく行われていないと、ベースセットの充電ランプが点灯しません。ハンドセットをベースセットに置き直してください。
- 電池残量がなくなると、ハンドセットのディスプレイに表示されている ▭ が点滅し、お話し中の場合は約30秒ごとに「ピーピー…」という音が鳴ります。できるだけ早めにお話しを終えて充電してください。
- 電池残量がまったくないときは、ハンドセットをベースセットに置いてもすぐに充電ランプが点灯しないことがあります。そのまましばらくお待ちください。10分以上経過しても充電ランプが点灯しないときは、充電用電極が汚れていないか確認してください。

STOP お願い

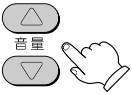
- 充電用電極（金属の部分）には、ぬれた手（特に汗のついた手）で触れないようにしてください。また、充電用電極がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取ってください。
- 充電用電極が汚れたときは、綿棒や布などでからぶきするか、アルコールを含ませた布でふき取ってください（ベンジン、シンナーなどをお使いになると変質することがありますので、これらは絶対に使わないでください）。
- 充電用電極が汚れていたり、充電用電極に異物がついていると、ハンドセットをベースセットに置いてもベースセットの充電ランプが点灯しないことがあります。いつもきれいにしておいてください。

1 お使いになる前に
2 電話をかける／受ける
3 より便利に使う
4 ご参考に

■ベースセットの音量を調節する

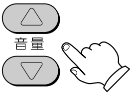
〈スピーカ音量を調節する〉

音量調節ボタンでスピーカ音量を8段階で設定することができます。スピーカ受話中に、音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押します。音量が変わるとディスプレイに約2秒間表示されます。



〈着信音量を調節する〉

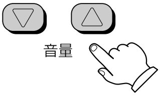
音量調節ボタンで外線や内線の着信音量を3段階で設定することができます。ハンドセットを置いたまま、音量を大きくするときは大ボタン、小さくするときは小ボタンを押します。音量が変わると、ディスプレイに約2秒間表示されます。



■ハンドセットの音量を調節する

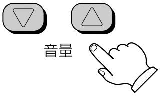
〈受話音量を調節する〉

音量調節ボタンで受話音量を3段階（<<<）で設定することができます。ハンドセットでお話し中に、音量を大きくするときは △ 、小さくするときは ▽ を押します。音量が変わるとディスプレイに約2秒間表示されます。



〈着信音量を調節する〉

音量調節ボタンで、ハンドセットの着信音量を「大」「小」の2段階（<<）と「切」（表示なし）に設定することができます。音量を大きくするときは △ 、小さくするときまたは「切」に設定するときは ▽ を押します。音量が変わるとディスプレイに約2秒間表示されます。

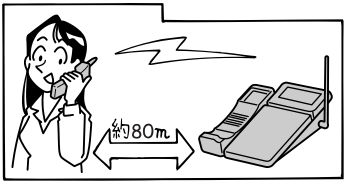


お知らせ

複数台同時に通話しながらまとまってベースセットから離れると、自動的に電波が強くなりお互いに電波干渉し、通話途切れやノイズ等の混入がなく同時に使用できる台数が少なくなることがあります。

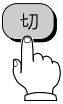
■ベースセットのアンテナを立てる

アンテナはできるだけ床面に対し垂直に起こしてご使用ください。ベースセットとハンドセットの間は電波で結ばれていますので、電波の届く範囲（見通し距離約80 m）であればお話ししながら移動できます。
ただし、コンクリート壁などで区切られているなど、ご使用になる周囲の環境条件によっては、音声が途切れたり、パタパタと雑音が入ったりして通話できる範囲が狭くなることがあります。約3秒ごとに「ピピッ…」という音（通話圏外警報音）が鳴ったら音声が途切れない場所まで戻ってください。そのままの場所で通話を続けるとディスプレイに「圏外」と表示され、電話が切れてしまうことがあります。
あらかじめ内線通話などで、通話ができる範囲や音声が途切れない場所であるかどうかを確めておいてください。
できるだけアンテナマークが全部表示（ ）する場所で使用してください。



■ハンドセットをベースセットから外しておくとき

ハンドセットをベースセットから外しておくときは、ベースセットの外線ランプ、内線ランプ、およびハンドセットの外線ランプ、保留・内線ランプが消えていることを確認してください（他の電話機の使用中表示は除きます）。
ハンドセットをベースセットから外すと、ハンドセットの外線ランプまたは保留・内線ランプ※が緑色に点灯しますので、切ボタンを押して外線ランプまたは保留・内線ランプを消してください。

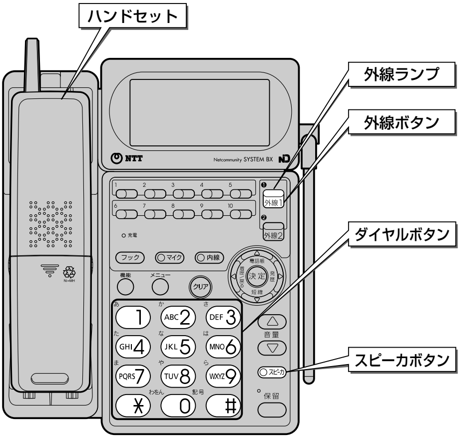


※外線ランプと保留・内線ランプのどちらが点灯するかは、接続されている主装置の設定により異なります（オフフック外線・内線捕捉）

ハンドセットをベースセットから外しておくときは、立てておくと不安定ですので、横にしてください。

電話をかけるには　（外線発信）

ベースセットから電話をかけるときは、ハンドセットでお話しする方法と、スピーカとマイクでお話しする方法（ハンズフリー通話）とがあります。また、ハンドセットをベースセットから外しているとき、ハンドセットからも電話をかけられます。



ベースセットからかける

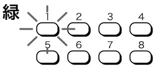
ハンドセットをベースセットに置いているとき、ハンドセットを持って電話をかける場合は、以下の手順で行います。

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

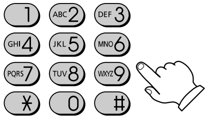
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

2 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 電話番号をダイヤルボタンで押します。



ハンドセットのダイヤルボタンで押すこともできます。

4 相手の方が応答したら、お話しください。

ワンポイント

●**ハンドセットをベースセットに置いたままダイヤルして電話をかけるには（オンフックダイヤル）**
① ベースセットのスピーカボタンを押す
② ベースセットの外線ボタンを押す
③ 相手の方の電話番号をダイヤルボタンで押す
④ 相手の方が応答したら、ハンドセットを取りあげてお話しする
⑤ お話しが終わったら、ハンドセットをベースセットに置く（またはハンドセットの切ボタンを押してから、ベースセットに置く）

●**電話番号を確認してから電話をかけるには（プリセットダイヤル）**
① 電話番号をベースセットのダイヤルボタンで押す
② 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す
③ ハンドセットを取りあげる
④ 相手の方が応答したら、お話しする
⑤ お話しが終わったら、ハンドセットをベースセットに置く（またはハンドセットの切ボタンを押してから、ベースセットに置く）

○**先にハンドセットを取りあげてから電話をかけるには**
ハンドセットを取りあげてから、ベースセットまたはハンドセットの外線ボタンを押しても電話をかけることができます。

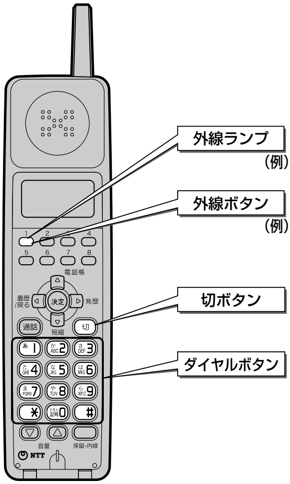
5 お話しが終わったら、ハンドセットをベースセットに置きます。

または、ハンドセットの切ボタンを押してから、ベースセットに置きます。

お知らせ

- 発信できる外線がすべて使用中のときには、電話をかけることができません。他の電話機のお話しが終わるまでお待ちください。
- 外線ランプが赤く点灯しているときは、他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のため、その外線ボタンを押して電話をかけることはできません。
- オンフックダイヤルの場合、外の相手の方が出たあと、ハンドセットを取りあげてお話ししないと、こちらの声は相手の方に聞こえません。
- 接続されている主装置の設定により、手順1を行わずに、ハンドセットを取りあげただけで電話をかけることができます（オフフック外線捕捉）。

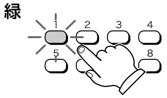
電話をかけるには　（外線発信）



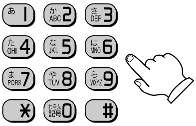
ハンドセットからかける

1 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。
外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

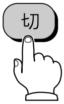


2 電話番号をダイヤルボタンで押します。



3 相手の方が応答したら、お話しください。

4 お話しが終わったら、切ボタンを押します。



ワンポイント

●電話番号を確認してから電話をかけるには（プリセットダイヤル）

① 電話番号をダイヤルボタンで押す
② 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す
③ 相手の方が応答したら、お話しする
④ お話しが終わったら、切ボタンを押す

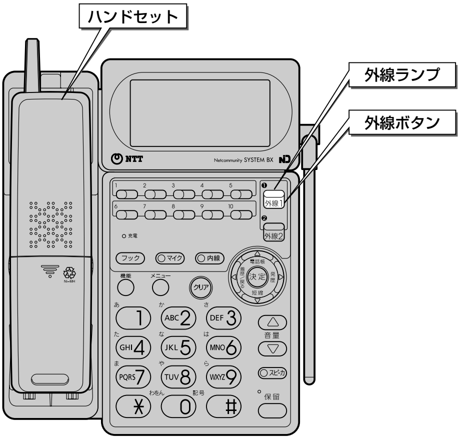
お知らせ

●カールコードレス電話機は、外へ電話をかけるとき、ベースセットとハンドセットの接続動作をするため、標準電話機より多少時間がかかることがあります。

●接続されている主装置の設定により、通話ボタンを押して電話をかけることができます（オフフック外線捕捉）。ただし、ベースセットに設定している外線数よりハンドセットに設定している外線数が少ない場合にはハンドセットに設定していない外線で発信することがあります。

電話がかかってきたときは（外線着信）

外から電話がかかってきたときは、着信音が鳴るように指定されているカールコードレス電話機で着信音が鳴り、ベースセットの外線ランプが赤く点滅します。また、ハンドセットをベースセットから外しているとき、ハンドセットでも電話を受けられます。

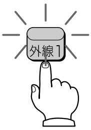


ベースセットで受ける

1 着信音が鳴り、外線ランプが点滅します。

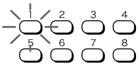
2 ランプが点滅している外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話しください。

ハンドセットの外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



4 お話しが終わったら、ハンドセットをベースセットに置きます。

または、ハンドセットの切ボタンを押してから、ベースセットに置きます。

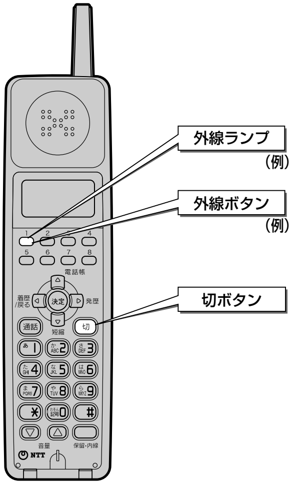
ワンポイント

○**ハンドセットを取りあげてから応答するには**
接続されている主装置の設定により、ハンドセットを取りあげてから、ハンドセットの点滅している外線ボタンを押しても応答できます。

お知らせ

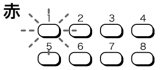
- ●外の相手の方とお話し中に、保留にしないで他の外線ボタンを押すと、電話が切れますのでご注意ください。
- ●他の人が先に応答したときは、「プープー…」という話中音が聞こえ、外線ランプが赤く点灯したままになります。

電話がかかってきたときは（外線着信）



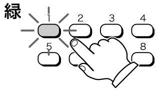
ハンドセットで受ける

1 着信音が鳴り、外線ランプが点滅します。



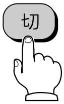
2 ランプが点滅している外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 相手の方とお話しください。

4 お話しが終わったら、切ボタンを押します。



ワンポイント

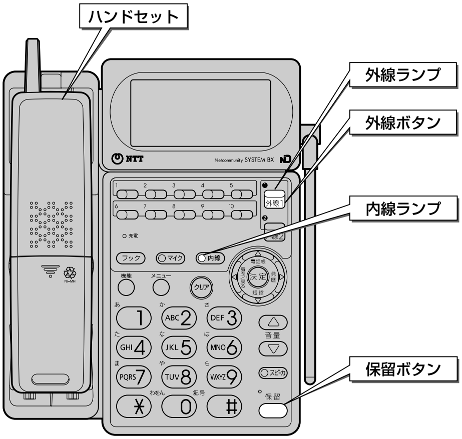
○**ハンドセットの着信音量を「切」に設定している場合は**
電話がかかってきたとき、ハンドセットから着信音は鳴りませんが、外線ランプが点滅し、外線ボタンを押して応答することができます。

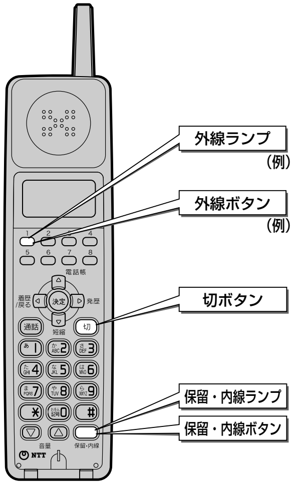
お知らせ

- ●カールコードレス電話機は、外からの電話に応答するとき、ベースセットとハンドセットの接続動作をするため、標準電話機より多少時間がかかることがあります。
- ●接続されている主装置の設定により、着信中に通話ボタンを押して応答することができます。ただし、ベースセットに設定している外線数よりハンドセットに設定している外線が少ない場合には、ハンドセットに設定していない外線への着信に応答することがあります。

相手の方に待っていただくには（保留）

外の相手の方とのお話しを一時中断して、待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。ベースセットでもハンドセットでも保留できます。また、ベースセットでもハンドセットでも保留を解除できます。



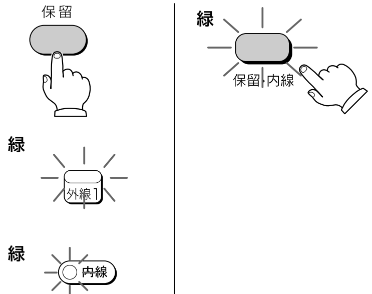


保留にする（共通保留）

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 ベースセットの保留ボタンまたはハンドセットの保留・内線ボタンを押します。

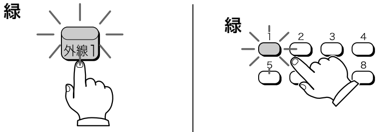
相手の方とハンドセットには保留メロディが流れます。外線ランプが周期的に2回点灯し、ベースセットの内線ランプとハンドセットの保留・内線ランプが点灯して周期的に2回消えます。



〈ベースセット〉　〈ハンドセット〉

3 もう一度お話しするときは、ベースセットの保留中の外線ボタンまたはハンドセットの外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



〈ベースセット〉　〈ハンドセット〉

4 お話しが終わったら、ハンドセットをベースセットに置きます。

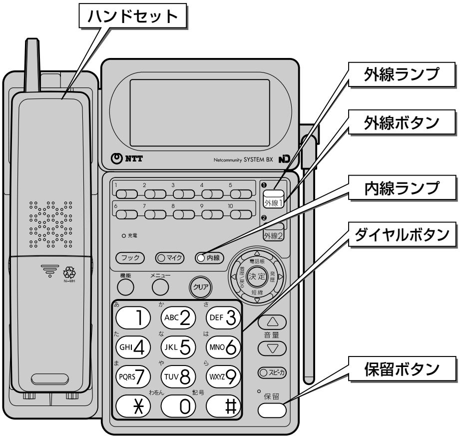
または、ハンドセットの切ボタンを押してから、ベースセットに置きます。

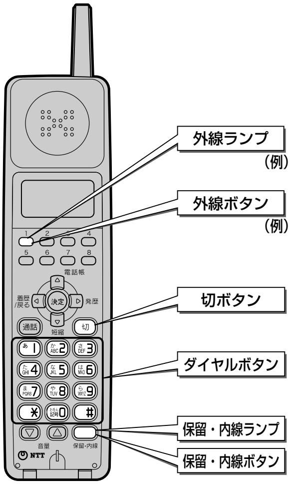
お知らせ

接続されている主装置が主装置タイプの場合、ハンドセットで外線発信や着信応答または保留中の外線ボタンを押して、続けてすぐに保留・内線ボタンを押すと、共通保留ではなく個別保留になることがあります。

電話を取りつぐには　（保留転送）

外の相手の方とのお話しを、他の内線電話機やカールコードレス電話機に取りつぐことができます。ベースセットからも、ハンドセットからも取りつぐことができます。





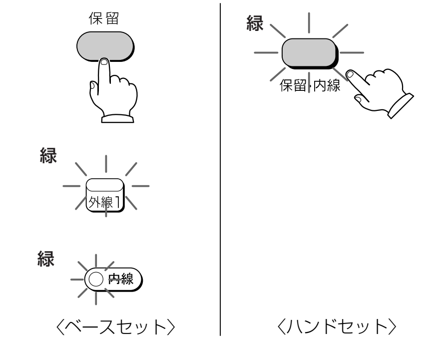
電話を取りつぐ（保留転送）

呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

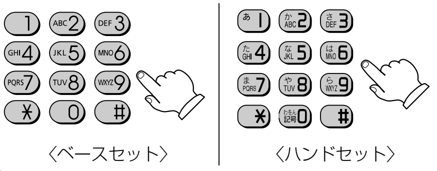
2 ベースセットの保留ボタンまたはハンドセットの保留・内線ボタンを押します。

相手の方とハンドセットには保留メロディが流れます。外線ランプが周期的に2回点灯し、ベースセットの内線ランプとハンドセットの保留・内線ランプが点灯して周期的に2回消えます。



3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

ディスプレイに、呼び出す内線番号が表示されます。



4 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝えます。

ワンポイント

●**呼び出される方が近くにいるときは（口頭転送）**
「呼び出す方」の手順2のあと、口頭で連絡してください。「呼び出される方」はハンドセットを取りあげて保留中の外線ボタンを押すと、電話に出ることができます。

呼び出される方

1 **呼び出されると着信音が鳴り、ベースセットの内線ランプが点滅します。ハンドセットを取りあげてお話しください。**

ディスプレイに、呼び出した方の内線番号が表示されます。

2 **呼び出した方がハンドセットをベースセットに置くか、ハンドセットの切ボタンを押すと外からの電話につながりますから、相手の方とお話しください。**

5 **ハンドセットをベースセットに置きます。**

赤

または、ハンドセットの切ボタンを押してからベースセットに置きます。

ワンポイント

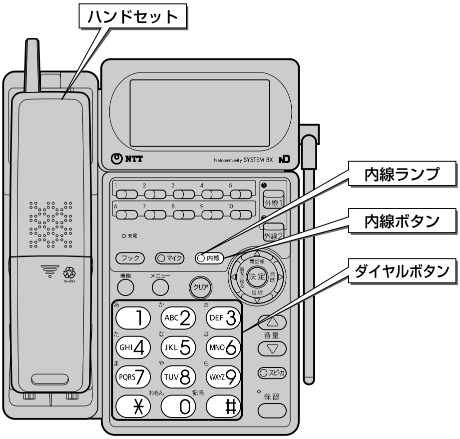
○**ハンドセットをベースセットから外しているときに、ハンドセットで呼び出しを受けるには**
着信音量を「大」または「小」に設定している場合は、ハンドセットから着信音が鳴り、保留・内線ランプが点滅します。保留・内線ボタンを押して応答してください。
着信音量を「切」に設定している場合は、ハンドセットから着信音は鳴りませんが、保留・内線ランプが点滅し、保留・内線ボタンを押して応答することができます。また、ハンドセットとベースセットのディスプレイには内線着信したことが表示されます。

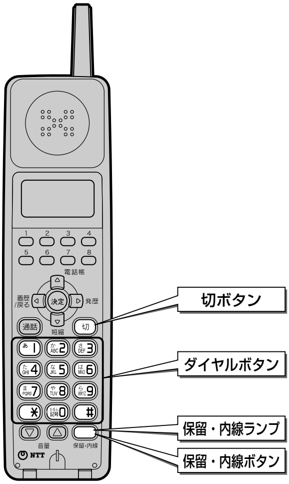
お知らせ

「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。

内線でお話しするには　（内線通話）

他の内線電話機やカールコードレス電話機を内線番号で呼び出してお話しすることができます。
ベースセットからもハンドセットからも呼び出すことができます。





内線でお話しする（内線通話）

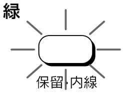
呼び出す方

1 ベースセットの内線ボタンを押します。

ベースセットの内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

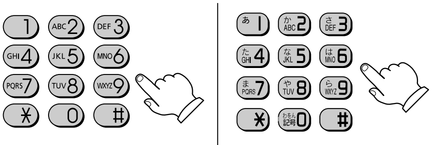
2 ハンドセットを取りあげます。

「ツーツー…」という発信音を確認してください。
ハンドセットの保留・内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 呼び出す内線電話機の内線番号を、ダイヤルボタンで押します。

ディスプレイに内線番号が表示されます。



〈ベースセット〉　〈ハンドセット〉

4 呼び出された方が応答したら、お話しください。

5 お話しが終わったら、ハンドセットをベースセットに置きます。

または、ハンドセットの切ボタンを押してから、ベースセットに置きます。

呼び出される方

1 呼び出されると着信音が鳴り、ベースセットの内線ランプが点滅します。ハンドセットを取りあげてお話しください。

ディスプレイに、呼び出した方の内線番号が表示されます。

ワンポイント

○ハンドセットをベースセットから外しているときに、ハンドセットから内線電話をかけるには

手順1で、ハンドセットの保留・内線ボタンを押し、続けて手順3から行ってください。

○ハンドセットを取りあげてから内線電話をかけるには

ハンドセットを取りあげてから、ベースセットの内線ボタンまたはハンドセットの保留・内線ボタンを押しても内線電話をかけることができます。

○ハンドセットをベースセットから外しているときに、ハンドセットで呼び出しを受けるには

着信音量を「大」または「小」に設定している場合は、ハンドセットから着信音が鳴り、保留・内線ランプが点滅します。保留・内線ボタンを押して応答してください。着信音量を「切」に設定している場合は、ハンドセットから着信音は鳴りませんが、保留・内線ランプが点滅し、保留・内線ボタンを押して応答することができます。また、ハンドセットとベースセットのディスプレイには内線着信したことが表示されます。

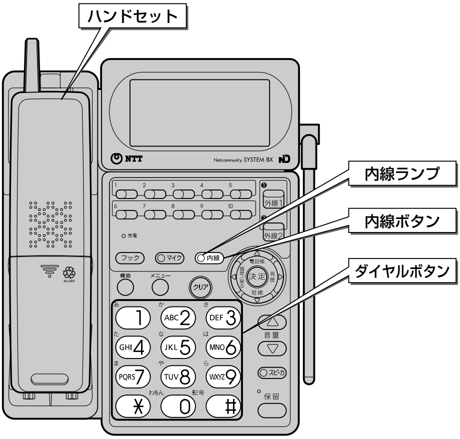
○お話し中に内線がかかってきたときは（通話中着信）

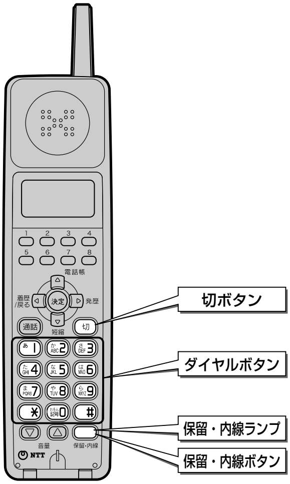
お話し中に内線がかかってきたときは、内線ランプが点滅し、ベースセットから小さな音で着信音が聞こえます。

お知らせ

「呼び出す方」の手順3のあと、「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。

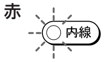
ドアホンとお話しするには





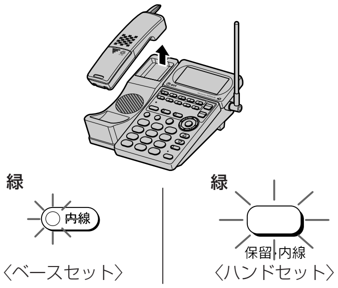
ドアホンからの呼び出しに応答する

1 ドアホンからの呼び出しがあると、ベースセットからチャイム音が鳴り、内線ランプが点滅します。



2 ハンドセットを取りあげます。

ベースセットの内線ランプとハンドセットの保留・内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 相手の方とお話しください。

4 お話しが終わったら、ハンドセットをベースセットに置きます。

または、ハンドセットの切ボタンを押してから、ベースセットに置きます。

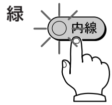
お知らせ

- ●ドアホンからの呼び出しに応答するときは、内線ランプが点滅している間に行ってください。この時間を超えると、ハンドセットを取りあげても応答することはできません。
- ●チャイム音が鳴るように設定した電話機がお話し中のときは、チャイム音が鳴りません。なお、接続されている主装置によっては、「プププ」という確認音でドアホンからの呼び出しをお知らせすることができます。ドアホンからの呼び出しに応答するときは、保留・内線ボタンを押してください。そのとき前の人とのお話しは切断されます。
- ●チャイム音が鳴る電話機は、接続している主装置で設定します。
- ●ハンドセットからはチャイム音が鳴りません。

ドアホンの周囲の音を聞く

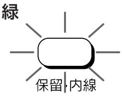
1 ベースセットの内線ボタンを押します。

ベースセットの内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



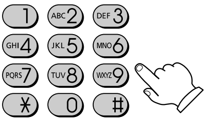
2 ハンドセットを取りあげます。

「ツーツー…」という発信音を確認してください。
ハンドセットの保留・内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

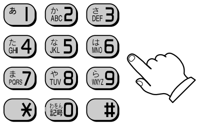


3 ドアホン番号をダイヤルボタンで押します。

ディスプレイにドアホン番号が表示されます。



〈ベースセット〉



〈ハンドセット〉

4 ドアホンの周囲の音が聞こえます。

ドアホン側の方とお話しすることもできます。

5 周囲の音を聞き終わったら、ハンドセットをベースセットに置きます。

または、ハンドセットの切ボタンを押してから、ベースセットに置きます。

ワンポイント

○**ハンドセットをベースセットから外しているときに、ハンドセットからドアホンの周囲の音を聞くには**
手順1で、ハンドセットの保留・内線ボタンを押し、続けて手順3から行ってください。

○**ハンドセットを取りあげてからドアホンの周囲の音を聞くには**
ハンドセットを取りあげてから、ベースセットの内線ボタンまたはハンドセットの保留・内線ボタンを押してもドアホンを呼び出すことができます。

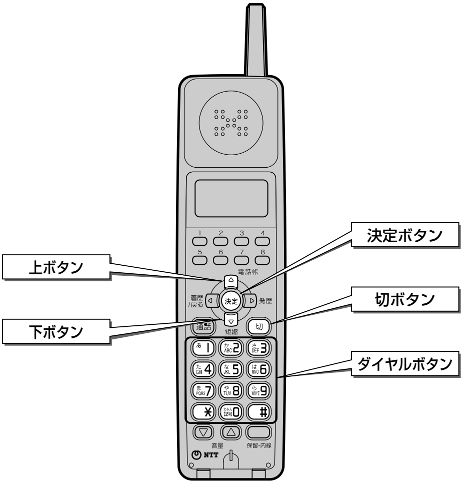
○**ハンドセットをベースセットから外しているときに、ハンドセットでドアホン呼び出しを受けるには**
着信音量を「大」または「小」に設定している場合は、ハンドセットから着信音が鳴り、保留・内線ランプが点滅します。保留・内線ボタンを押して応答してください。着信音量を「切」に設定している場合は、ハンドセットから着信音は鳴りませんが、保留・内線ランプが点滅し、保留・内線ボタンを押して応答することができます。また、ハンドセットとベースセットのディスプレイにはドアホンから着信したことが表示されます。

ハンドセットの機能を設定するには

電話機ごとに、ハンドセットについて以下の機能を設定することができます。

■ハンドセットの機能設定項目

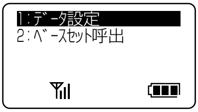
項目	内容	お買い求め時の設定
「1：ダイヤル押下音設定」（キータッチトーン）	ハンドセットのボタンを押したときに鳴る音を、鳴らすか鳴らさないか設定できます。	「1：設定する」（鳴る）
「2：圏外警報音設定」（通話圏外警報音→P23）	お話し中に圏外になりそうなことを知らせる「ピピッ…」という音を、鳴らすか鳴らさないか設定できます。	「1：設定する」（鳴る）
「3：LED節電設定」（ランプ節電）	ハンドセットをベースセットから上げた状態で何も操作を行わないとき、約10秒後にランプを消灯する機能です。	「0：設定しない」（消灯しない）

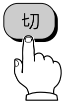


ハンドセットの機能を設定する

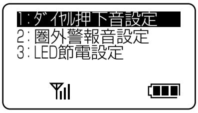
1 ハンドセットの切ボタンを長く（2秒以上）押します。

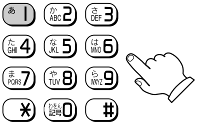
設定メニューが表示されます。





2 あ1を押します。

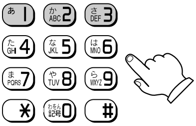




上下ボタンで「1：データ設定」を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

3 あ1～さDEF3を押します。

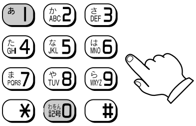
あ1 ：キータッチトーンを設定する
かABC2 ：通話圏外警報音を設定する
さDEF3 ：ランプ節電を設定する



上下ボタンで設定する項目を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

4 あ1（設定する）または わをん記号0（設定しない）を押します。

「ピピッ」という音が鳴り、設定が終了します。



上下ボタンで「0：設定しない」または「1：設定する」を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

ワンポイント

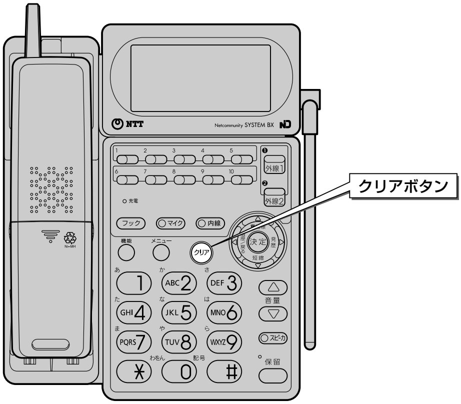
●**設定を中止するには**
切ボタンを押します。

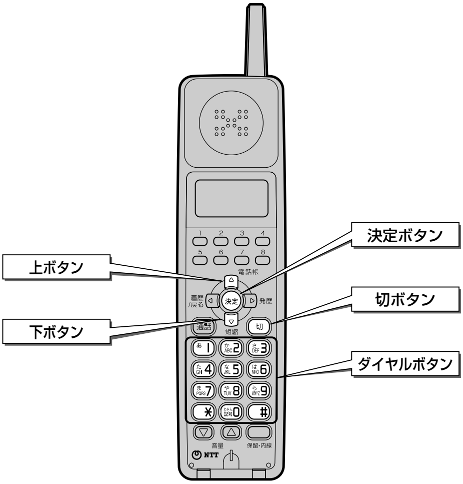
お知らせ

●「LED節電設定」を「1：設定する」にすると、回線ランプが消灯した後は回線ボタンの状態を確認できなくなります。その場合は、いったん切ボタンを押してランプを表示させてからご使用ください。
●LED節電設定を「1：設定する」にして、さらに「システム設定」により、着信音が鳴らないように設定すると、鳴らない着信のときには、回線ランプは点滅や点灯しないので、着信回線がわかりません。いったん切ボタンを押してランプを表示させてからご使用ください。

ベースセットを確認するには

カールコードレス電話機を複数台ご利用の場合、ハンドセットに対応するベースセットがわからなくなったとき、ハンドセットから対応するベースセットを呼び出して確認することができます。

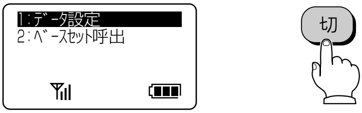




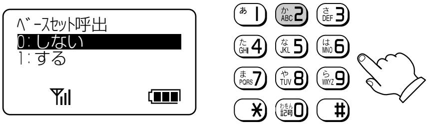
ベースセットを確認する

1 ハンドセットの切ボタンを長く（2秒以上）押します。

設定メニューが表示されます。



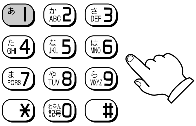
2 (か ABC 2)を押します。



上下ボタンで「2：ベースセット呼出」を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

3 (あ 1)を押します。

対応するベースセットから呼出音が鳴ります。



上下ボタンで「1：する」を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

4 対応するベースセットのクリアボタンを押します。

ベースセットの呼出音が止まります。

ハンドセットをベースセットに置いても呼出音が止まります。

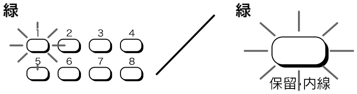
電池交換のしかた／電池の残量がなくなったときは

ハンドセットには専用の電池パック（オプション品）が入っています。電池パックは消耗品です。カールコードレス電話機の使用頻度にもよりますが、約2年程度ご使用になれます。長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる場合は、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。なお、ご購入についてはパーツサービスセンタ 0120-86-8289、またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

■電池パックを交換する

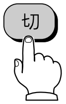
1 ベースセットからハンドセットを取りあげます。

ハンドセットの外線ランプまたは保留・内線ランプが点灯します。



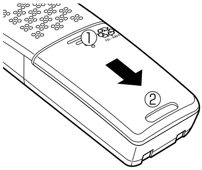
2 ハンドセットの切ボタンを押します。

ハンドセットの外線ランプまたは保留・内線ランプが消えます。



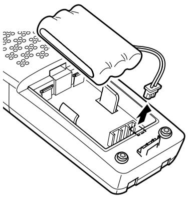
3 電池カバーを外します。

①の部分を押しながら、矢印②の方向へずらすとカバーが外れます。



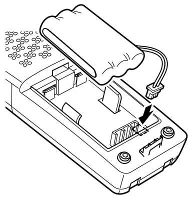
4 電池パックを取り出します。

電池パックを取り出すときは、コネクタを持って外してください。



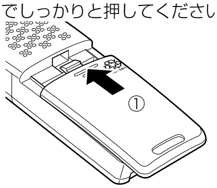
5 新しい電池パックを入れます。

コネクタは赤いコードが右側になるようにして、最後まで確実に差し込みます。

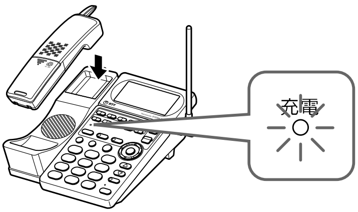


6 電池カバーを取り付けます。

コードを挟まないように注意して、下図のとおりセットし、①の方向へスライドさせ「パチッ」と音がするまでしっかりと押してください。



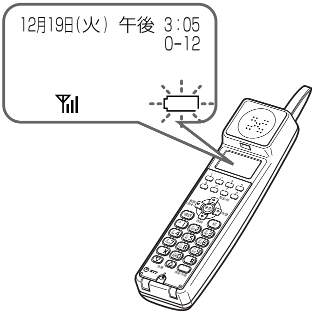
7 ハンドセットをベースセットに置き、5時間以上充電します。



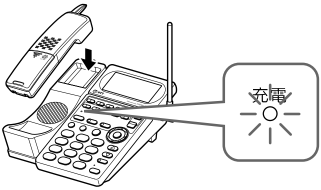
電池交換のしかた／電池の残量がなくなったときは

■通話中に電池がなくなると

1. 「ピーピー…」という低電圧警報音が約30秒ごとに鳴り、電池残量表示が点滅します。できるだけ早くお話しを終わらせてください。



2. ハンドセットをベースセットにおいて、5時間以上充電してください。



お知らせ

- ●お話し中に低電圧警報音が鳴ってもそのままお話しを続けると、約1分間で電話が切れてしまいますので、ご注意ください（なお、電池の状態などによってはそれよりも短い時間で切れてしまうこともあります）。
- ●着信音量を「切」に設定してあっても警報音は鳴ります。
- ●着信中に電池がなくなると着信音は停止し、応答できなくなります。
- ●次の場合は、ベースセットに置いて充電するまでハンドセットのボタンで操作はできません。
  - ・お話し中に低電圧警報音が鳴ったため、切ボタンを押してお話しを終了したとき
  - ・ベースセットにハンドセットを置かず、ハンドセットの使用もしていない状態で、電池残量表示が点滅したとき

■電池パック回収のお願い

使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

⚠危険

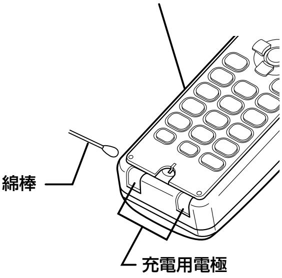
●電池パックについて
電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。
- 必ず専用のものをお使いください。
- 取り出して充電しないでください。
- 火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
- 充電には、専用のベースセットをお使いください。
- 端子を短絡させないでください。

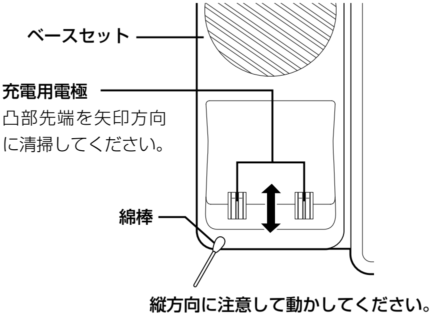
■オプション品について

〈電池パック〉
カナ品名　：CT-デンチパック-062

充電用電極のお手入れ

ベースセットとハンドセットの充電用電極は充電のためにとても大切です。
充電用電極には直接手を触れないようにしてください。
充電用電極が汚れたときは、充電用電極を綿棒や布などでからぶきするか、アルコールを含ませた布でふき取ってください。





お願い

- 充電用電極（金属の部分）には、ぬれた手（特に汗のついた手）で触れないようにしてください。また、充電用電極がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取ってください。
- 充電用電極が汚れたときは、綿棒や布などでからぶきするか、アルコールを含ませた布でふき取ってください（ベンジン、シンナーなどをお使いになると変質することがありますので、これらは絶対に使わないでください）。
- 充電用電極が汚れていたり、充電用電極に異物がついていると、ハンドセットをベースセットに置いてもベースセットの充電ランプが点灯しないことがあります。いつもきれいにしておいてください。

通話できる範囲から外れたときは（圏外）

■お話し中のとき

お話し中に圏外に出ると「ピピッ…」という通話圏外警報音が鳴ります。この状態でさらに圏外へ移動すると、ハンドセットのディスプレイに「圏外」が表示され電話が切れます。警報音が鳴らないところまでベースセットの近くに移動してお話しください。

■電話をかけようとしたとき

圏外から電話をかけると、「ピピピピ」というエラー音が鳴ります。
ベースセットに近付いて、もう一度おかけ直しください。

お知らせ

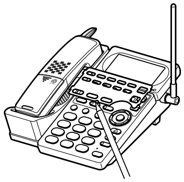
- ●電波の状態によっては、通話圏外警報音が鳴らずに電話が切れることがあります。お話し相手の声が聞こえなくなったときは、ベースセットの近くまで移動してください。
- ●お話し中に通話圏外警報音が鳴ったときは、約5秒で電話が切れることがありますのでご注意ください。
- ●コンクリート壁などで区切られている場合など、周囲の環境条件によってお話しできる範囲が狭くなることがあります。
- ●着信音量を「切」に設定してあっても警報音は鳴ります。
- ●ハンドセットの機能設定により「圏外警報音設定」を「0：設定しない」にしているときは、警報音は鳴りません。
- ●通話圏外付近では、着信のときに着信音はなりますが、ボタンの操作を禁止しているので応答できない場合があります（ボタンを押したときにピピピピとエラー音が鳴ります）。できるだけベースセットに近づいてご使用ください。

付属品／添付品をご利用になるには

■電話機用シールを使う

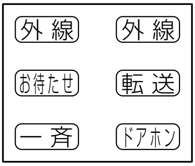
フレキシブルキーに「外線」「転送」などを登録しているときは、電話機用シールを貼り付けます。

1. **電話機パネルの下側のくぼみに、先のとがったものを差し込み、上に引き上げます。**

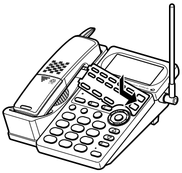


2. **ワンタッチダイヤルカードを取り出し、ワンタッチダイヤルに登録した相手先を記入します。**

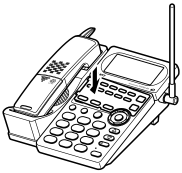
3. **フレキシブルキーに「外線」「転送」などを登録しているときは、ワンタッチダイヤルカードに電話機用シールを貼り付けます。**



4. **ワンタッチダイヤルカードをセットして、電話機パネルの右側のツメを電話機に差し込みます。**



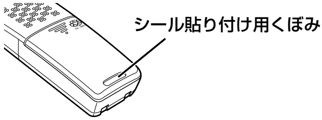
5. **電話機パネルをたわませながら、上側および左側のツメを電話機に差し込みます。**



■カラーシールを使う

ハンドセットとベースセットに同じ色のシールを貼って、他のカールコードレス電話機との識別にご利用ください。

※ハンドセットには、電池カバーにシール貼り付け用のくぼみがあります。ベースセットには、文字が隠れない箇所にお貼りください。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
ハンドセットが使えない	ベースセットの電話機コードが抜けている	ベースセットの電話機コードを正しく接続してください	―
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください	☛P39
	電池残量が少なくなった	充電してください	☛P40
	電池が消耗している（電池の寿命）	新しい電池パックと交換してください	☛P39
	ベースセットから離れすぎている	ベースセットの近くに移動してください	☛P42
	たくさんの電話機を接続している。または長い距離を電話機コードでつないでいる	電源アダプタ（オプション）を使用してください	―
ハンドセットの着信音が鳴らない	ハンドセットの着信音量が「切」に設定されている	着信音量を「小」または「大」に設定してください	☛P23
	ベースセットから離れすぎている	ベースセットの近くに移動してください	☛P42
電話がかけられない	ベースセットから離れすぎている	ベースセットの近くに移動してください	☛P42
	使用できる外線・内線がすべて使用中	少し待ってからかけ直してください	☛P25
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を「中」または「大」に設定してください	☛P23
相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しすぎている	受話音量を「中」または「小」に設定してください	☛P23
自分の声が相手側にひずんで聞こえる	ハンドセット送話口と口が近すぎる	送話口と口を離してお話ししてみてください	―
通話に雑音が入ったりお話しが途切れる	ベースセットから離れすぎている	ベースセットの近くに移動してください	☛P42
	電池残量が少なくなった	充電してください	☛P40
	ベースセットとハンドセットの間に障害物がある	障害物のないところへ移動してください	―
	近くに雑音を発生する家電製品やOA機器がある	それらの機器からできるだけ離れてください	―
	近くで同じコードレス電話機をたくさん使っている	コードレス電話機同士の間隔は、1m以上離してご使用ください	―
	相手の方と同時にお話しをしている。またはお話ししている周辺がうるさい	相手の方と同時に話さず、交互に話してみてください。または、静かな場所に移動してみてください	―

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
9時間以上充電しても、すぐに使えなくなる	ハンドセットをベースセットの上に正しく置いていない	ハンドセットをベースセットに正しく置き、充電ランプが点灯しているか確認してください	☛P40
	ハンドセットまたはベースセットの充電用電極（金属の部分）が汚れている	綿棒や布などでからぶきしてください 汚れがひどいときはアルコールを含ませた布でふいてください	☛P41
	電池が消耗している（電池の寿命）	新しい電池パックと交換してください	☛P39
ベースセットにハンドセットを置いても充電ランプが点灯しない	ハンドセットの電池残量がなくなった	ベースセットにハンドセットを置いてしばらくお待ちください	☛P40
	ハンドセットまたはベースセットの充電用電極（金属の部分）が汚れている	綿棒や布などでからぶきしてください 汚れがひどいときはアルコールを含ませた布で拭いてください	☛P41
	ハンドセットを他の電話機のベースセットに置いている	正しいベースセットに置いてください	☛P38
お話し中に「ピーピー…」という警報音が鳴る	電池の残量が少なくなった	できるだけ早くお話しを終わらせ、充電してください	☛P40
お話し中に「ピピッ…」という警報音が鳴る	圏外に出ている	ベースセットの近くに移動してください	☛P42

こんな音がしたら

●こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける／受ける	ツーツー…（内線発信音）	内線ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出すことができます
	ツー（外線発信音）	外線ボタンを押したとき	外に電話をかけることができます
	プルルル…（呼出音）	外線または内線で相手の方を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています
	プープー…（話中音）	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、またはすべての外線・内線電話機が使用中のとき	お話し中です
登録設定	ピー（登録確認音）（ネットコミュニティシステムBX主装置内蔵電話機接続時）	登録を受け付けたとき	登録されました
	ピーピーまたはピピ（登録確認音）（ネットコミュニティシステムBX主装置タイプ接続時）		
	ピピピピピ（登録エラー音）（ネットコミュニティシステムBX主装置内蔵電話機接続時）	登録に誤りがあるとき	登録エラーがありました
	ピピピピピピ（登録エラー音）（ネットコミュニティシステムBX主装置タイプ接続時）		
その他	ピンポーン（チャイム音）※1	ドアホンから呼び出されているとき	ドアホンから呼び出されています
	ピピピピ…（ベースセット呼出音）	ハンドセットでベースセットを呼び出しているとき	ハンドセットから、対応するベースセットを呼び出しています
	ピピッ…（通話圏外警報音）※3	お話し中に圏外に出たとき	圏外のため、電話が切れます
	ピーピー…（低電圧警報音）※3	お話し中に電池残量がなくなったとき	電池残量がなくなりました
	ピピピピ（エラー音）※3	圏外から電話をかけたとき	圏外のため、電話をかけることができません
	ピッ（キータッチトーン）	ハンドセットのボタンを押したとき	ボタンが押されました
	保留メロディ（保留音）※2	電話を保留したとき	電話が保留されています

※1　2台以上のドアホンが接続されている場合、異なったチャイム音が鳴ります。
※2　主装置の設定により、保留メロディを切り替えることができます。
※3　ハンドセットの着信音量を「切」に設定してあっても、これらの警報音は鳴ります。

索　引

アルファベット

LED節電設定 ……36
NTT通信機器お取扱相談センタシール ……14

五十音

【ア行】

アンテナ ……15,19
上ボタン ……15,19
オプション品 ……40
オフフック外線捕捉 ……23,25,26
オフフック内線捕捉 ……23
オンフックダイヤル ……24
音量
　受話音量を調節する ……23
　スピーカ音量を調節する ……23
　着信音量を調節する ……23
音量調節ボタン ……15,19

【カ行】

カールコードレス電話機
　準備する ……22
外線着信 ……27
外線発信 ……24
外線ボタン ……15,19
外線ランプ ……17,20
角度調節足 ……16
各部の名前 ……15,19
カラーシール ……14,43
簡易秘話機能 ……13
キータッチトーン
　ハンドセットのキータッチトーンを設定する ……36
機能ボタン ……15
切ボタン ……19
クリアボタン ……15
決定ボタン ……15,19
決定ランプ ……17
圏外 ……42
　圏外から電話をかけようとしたとき ……42
　圏外警報音設定 ……36
　通話圏外警報音 ……36,42,46
口頭転送 ……30
故障かな？と思ったら ……44
こんな音がしたら ……46

【サ行】

下ボタン ……15,19
充電 ……22,40
　充電用電極 ……15,16,19,22,41
　充電用電極のお手入れ ……41
　充電ランプ ……17
受話音量を調節する ……23
受話口 ……19
仕様 ……49
上下左右ボタン ……15,19
スピーカ ……15
スピーカ音量を調節する ……23
スピーカボタン ……15
スピーカランプ ……17
セットの確認 ……14
送話口 ……19

【タ行】

ダイヤルボタン ……15,19
短縮ボタン ……15,19
着信音量
　着信音量を「切」に
　　設定しているとき ……23,28,31,33,35,40
着信音量を調節する ……23
着歴／戻るボタン ……15,19
着歴ランプ ……17
通話圏外警報音 ……36,42,46
　ハンドセットの通話圏外警報音を設定する ……36
通話時間表示例 ……18,21
通話中着信 ……33
通話できる範囲 ……23
　通話できる範囲から外れたとき ……42
通話ボタン ……19
ディスプレイ ……15,19
　ディスプレイの表示をクリアする ……18
　ディスプレイの見かた ……18,21
低電圧警報音 ……40,46
電源アダプタ差込口 ……16
電池カバー ……14,19
電池残量 ……21,39
　電池の残量がなくなったとき ……40
電池パック ……14
　電池パック回収のお願い ……40
　電池パックを交換する ……39
電波干渉について ……10
電波使用注意書きステッカー ……14
電波に関するご注意 ……10
電波の強さ ……21
電話がかかってきたとき ……27
　相手の方に待っていただく ……29

索　引

ハンドセットで受ける……28
ハンドセットの着信音量スイッチを「切」にしているときに受ける……28
ベースセットで受ける……27
電話機コード差込口……16
電話機用シール……14,43
電話帳ボタン……15,19
電話をかける……24
相手の方に待っていただく……29
オフフック外線捕捉……23,25,26
電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）……24,26
ハンドセットからかける……26
ハンドセットをベースセットに置いたままダイヤルしてかける（オンフックダイヤル）……24
ベースセットからかける……24
電話を取りつぐ……30
ドアホン
ドアホンからの呼び出しに応答する……34
ドアホンとお話しする……34
ドアホンの周囲の音を聞く……35
特長……13
取扱説明書……14

【ナ行】

内線通話……32
内線でお話しする……32
内線ボタン……15
内線ランプ……17

【ハ行】

発歴ボタン……15,19
ハンドセット……14,19
ハンドセットに対応するベースセットがわからないとき……38
ハンドセットの音量を調節する……23
ハンドセットのキータッチトーンを設定する……36
ハンドセットの機能を設定する……36
ハンドセットをベースセットから外しているとき……23
ハンドセットから外線電話をかける……26
ハンドセットからドアホンの周囲の音を聞く……35
ハンドセットからドアホン呼び出しを受ける……35
ハンドセットから内線電話をかける……33
ハンドセットで外線電話を受ける……28
ハンドセットで内線呼び出しを受ける……31,33
左ボタン……15,19
表示クリア……18
付属品／添付品……14
付属品／添付品を使う……43
フックボタン……15
プリセットダイヤル……24,26
フル充電……13,22
フレキシブルキー……15,19
ベースセット……14,15
ベースセットから電話をかける……24
ベースセットの音量を調節する……23
ベースセットを確認する……38
保守サービス……50
保留……29
保留・内線ボタン……19
保留・内線ランプ……20
保留転送……30
呼び出される方が近くにいるとき（口頭転送）……30
保留ボタン……15
本体……14

【マ行】

マイク……15
マイクボタン……15
マイクランプ……17
右ボタン……15,19
無線接続……21,26,28
メニューボタン……15

【ラ行】

ランプ表示……17,20
何も操作を行わないときランプを消灯する……36

仕　様

	ベースセット	ハンドセット
寸法・質量	幅約204 mm×奥行き約241 mm×高さ約80 mm（アンテナ含まず） 約720 g	幅約50 mm×奥行き約189 mm×高さ約39 mm（アンテナ含まず） 約195 g
使用電源	主装置からの給電、または専用電源アダプタ（オプション）	ニッケル水素電池（DC 3.6 V）
消費電力	約7 W（動作時）	約0.4 W（動作時）
通話可能範囲	約80 m（見通し距離）	
連続通話時間	―――	約5時間（フル充電時）
連続待受時間	―――	圏内時約100時間（フル充電時）※
充電完了時間	―――	約9時間

※連続待受時間は、ランプが点灯しないときで、また省電力モード設定ありのときの時間です。省電力モード設定については当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください）。

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-970413
携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00〜21：00
年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-248995

受付時間　9：00〜17：00
年末年始12月29日〜1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後7年間保有しております。

環境基準ラベル「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「＜追補版＞通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

＜環境に配慮した素材の採用＞
- ●弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- ●弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- ●酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- ●焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- ●廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- ●取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

＜リサイクルしやすい設計＞
- ●製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- ●リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

＜環境に配慮した梱包材＞
- ●発泡スチロールの使用量を削減します。

＜省エネルギー＞
- ●省エネルギーを考慮した設計を行います。
- ●国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。 環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-970413

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～21：00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-248995

受付時間　9：00～17：00
年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2010 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本2844-3(2010.2)
BX-CCLTELトリセツ-〈1〉
4348060000 H03